

## 市長のお楽しみ講座

■講師 甲斐市長 保坂 武

■テーマ ～川柳とわたし～

### 1 川柳との出会い

・平成12年(2000年)春。介護保険導入の年。

母(花子)の介護川柳

○誰にでも かならず来るよ 老いの時

○介護とは 介護・看護を 病人(ろうじん)に

### 2 川柳の由来

「川柳(せんりゅう)」と呼ばれる十七音文芸の名称の元になったのは、「川柳」というのは個人の名(俳名)で、江戸時代中後期(十八世紀後半)の新興都市江戸に登場した、前句附というものの点者(宗匠)に由来します。

■柄井八右衛門(からい はちえもん)という人の俳号(雅号)柄井 川柳(かわやなぎ)

○孝行の したい時分に 親はなし

○役人の子は にぎにぎを よく覚え

○寝ていても 団扇(うちわ) のうごく 親ごころ

など、よく知られた多くの句を世上に流布させた当時超一流の選者で、いつの間にか、この選者の号「川柳」が文芸の代名詞のように喧伝されるようになりました。

### 3 保坂 武の川柳バージョン

(1)第1生命 サラリーマン川柳、(2)シルバー編、

(3)県議会編・執行部編・秘書編、(4)鈴虫川柳(永田町編、倫理編)など

### 4 市長と川柳を語る

・題材 「雨」、「初夏」